

# 奈良国立博物館だより

第 132 号

令和7年 1・2・3月



重要文化財 二月堂練行衆盤（奈良・東大寺）

## 特別陳列

### お水取り

2月8日(土)～3月16日(日)  
西新館

## 特別公開

### 秘仏 深大寺 元三大師坐像 —日本最大の肖像彫刻—

1月15日(水)～3月16日(日)  
なら仏像館

## 特別展〈予告〉

奈良国立博物館開館130年記念特別展  
**超 国宝 —祈りのかがやき—**  
4月19日(土)～6月15日(日)  
東西新館

## 特別展〈予告〉

奈良国立博物館開館130年・天理大学創立100周年記念特別展  
**世界探検の旅 —美と驚異の遺産—**  
7月26日(土)～9月23日(火・祝)  
東西新館

## 名品展

**珠玉の仏たち**  
通年 なら仏像館

**中国古代青銅器**  
通年 青銅器館

**珠玉の仏教美術**  
～1月13日(月・祝)  
2月8日(土)～3月16日(日)  
西新館

特別陳列

# お水取り

2月8日(土)～3月16日(日)

毎年三月に東大寺二月堂で行われる「お水取り」は、正式には「修二会」といい、本尊の十一面観音に罪過を懺悔し、除災招福を祈る法会です。天平勝宝四年(七五二)に実忠和尚が創始したと伝えられ、一度も途絶えることなく勤められてきました。本展では、法会に使われた法具や装束、十一面観音の靈験を描いた絵画のほか、火災をくぐり抜けて今に伝わる本尊光背や「二月堂焼経」などを紹介します。

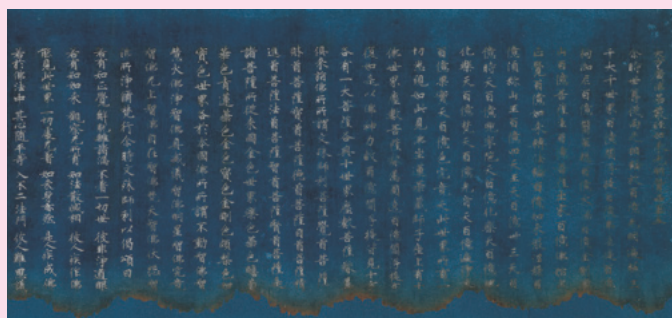
また、東大寺ミュージアムでは特集展示「二月堂修二会―不退の行法―」が同時開催されます。両館をあわせてご覧いただいた方には、限定の特製散華をプレゼントいたします。両館の展示を通じて、修二会(お水取り)の連綿と続く歴史を実感していただければ幸いです。



重文 二月堂本尊光背 頭光 (奈良・東大寺)



両館観覧プレゼント特製散華



華嚴經(二月堂焼経)(当館)

特別公開

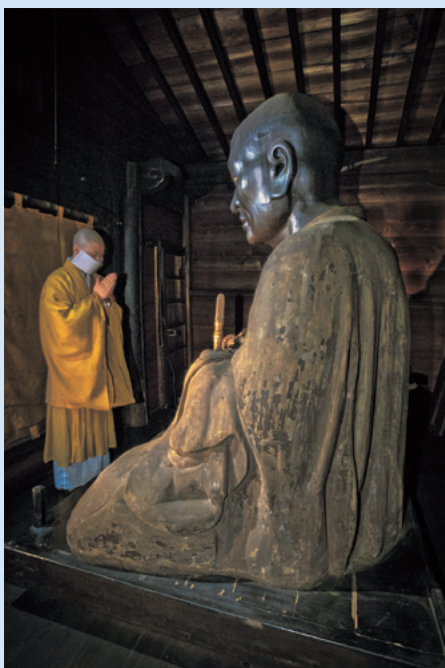
# 秘仏 深大寺 元三大師坐像

―日本最大の肖像彫刻―

1月15日(水)～3月16日(日)

東京都調布市の深大寺元三大師堂には、坐像で高さ二メートル近くもある元三大師こと慈恵大師良源の肖像彫刻が安置されています。良源は、平安時代中期に天台座主として活躍した高僧です。

鎌倉時代に制作されたこの像は、五十年に一度しか開扉されない秘仏で、近年まで多くの人の目に触れる機会がありませんでしたが、奈良国立博物館の文化財保存修理所にて、本格修理を実施いたしました。このたび、その修理完成を記念して、東京以外では初めての公開を行うはこびとなりました。日本最大の肖像彫刻の迫力ある姿を、この機会に是非とも間近でご覧下さい。



元三大師坐像(東京・深大寺)



〈予告〉  
特別展

奈良国立博物館開館130年記念特別展

## 超国宝

―祈りのかがやき―

4月19日(土)～6月15日(日)

奈良博は令和七年(二〇二五)をもって開館一三〇年を迎えます。これを記念し、このたび奈良博としては初の本格的な国宝展を開催します。その名も「超国宝―祈りのかがやき―」。「国宝」は、私たちの歴史、文化を代表する国民の宝です。「超国宝」という言葉には、そうしたとびきり優れた宝という意味とともに、時代を超え、先人たちから伝えられた祈りや、この国の文化を継承する人々の心もまた、かけがえない宝であるという思いを込めました。

一三〇年にわたる歴史を超え、国宝を生み出した先人たちの思いを超えて、文化の灯を次の時代につなぐため、奈良博が踏み出す新たな一歩をご覧ください。



国宝 菩薩半跏像 (伝如意輪観音)  
(奈良・中宮寺)

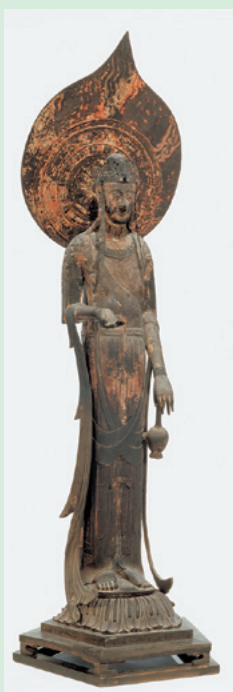
※5/20～6/15展示



国宝 七支刀 (奈良・石上神宮)



国宝 金亀舍利塔 (奈良・唐招提寺)



国宝 観音菩薩立像 (百済観音)  
(奈良・法隆寺)

〈予告〉  
特別展

奈良国立博物館開館130年・天理大学創立100周年記念特別展

## 世界探検の旅

―美と驚異の遺産―

7月26日(土)～9月23日(火・祝)

本展は天理大学附属天理参考館(奈良県天理市)の三十万点にのぼる考古・民族コレクションの中から厳選した作品と、奈良国立博物館の仏教美術作品を組み合わせ、人類の約六千年におよぶ歴史を探索する展覧会です。ユーラシア大陸東西の文明の交差、世界各地の神・祖霊<sup>それい</sup>への信仰や死後の世界、現代社会において急速に失われた民族文化というテーマを通じて、時空を行き来しながら美と驚異の造形の数々をお楽しみください。



伏羲女媧図 中国・トルファン (奈良・天理大学附属天理参考館)



金製頭飾 推定ポリネシア  
(奈良・天理大学附属天理参考館)



魔女<sup>マユ</sup>ンダの仮面 インドネシア・バリ島 (奈良・天理大学附属天理参考館)

# 「美の記憶を蓄える」

学芸部資料室 室員 西川 夏永

私の主な業務は文化財に関する写真資料の作成、収集及び調査・研究。簡単に言うと、文化財を専門に撮るカメラマンである。博物館・美術館に専用スタジオと専属カメラマン（以降写真技師）がいるのは全国的にも珍しい。奈良国立博物館（以降奈良博）の写真技師が誕生したのは調べた限り、昭和二十二年（一九四七）。私は令和二年（二〇二〇）十一月に奈良博に着任し五代目にあたる。



安倍文殊院での撮影風景

着任して初めての仕事が印象に残っている。特別展「聖徳太子と法隆寺」の撮影である。奈良博に来て三日目に法隆寺を訪問し、救世観音像の前で頭が真っ白になった記憶がある。今思えば、非常に貴重な経験であり、今後このような撮影も稀であろう。特別展になるとさまざまな作品が博物館に集まるため、より良い写真を残す絶好の撮影機会でもある。撮影許可をいただいた作品は開催期間中の休館日に撮影することが多い。通期で展示しない作品は展示の前後に撮影するので、この期間はほぼ毎日撮影をしている。

奈良博は「仏教美術の殿堂」と言われるだけあって、仏教美術の撮影が多い。博物館内に専用スタジオもあるので、屋内での撮影が多いが、寺院・神社をはじめとした文化財所蔵者のもとを訪問して撮影することもある。お堂の一角をお借りして、撮影場所を設置するのが、場所によって制約がある。空間に余裕がない時は、画角に収めるため壁ギリギリのところカメラを置き、身を縮み込ませたり、巨大な仏像や掛け軸を撮る時は三脚を目一杯伸ばし、文化財を傷つけないように大きな脚立に登り内心ドキドキしながら撮影したりする。最近では安倍文殊院にてご本尊の文殊菩薩像を撮影させていただく機会を得た。高さ約七メートルの仏像の背面を撮影するため壁ギリギリにカメラを設置し、なんとか隙間から覗き込んで撮影をした。

撮影は、作品の形を見て陰影を探りながら光を組み立て、研究員からの意見を聞きながら光と影を修正していく。影の部分が濃すぎるとその作品自体の情報が少なくなるため、資料としては不十分になる。ドラマチックな写真を撮らないと言うわけではないが、やはり図録や研究に使われる写真資料を撮るのが基本だ。ああでもない、こうでもないという悩みながら撮ったり、間近で観察し、この作品はこんな風に描いてあるのかと、作品の素晴らしさを語り合いながら撮っている。この時間がとても楽しい。

令和七年（二〇二五）は開館一三〇年記念「超国宝」展が四月から開催される予定で、名だたる作品たちが奈良博に集まる。会期中、新規撮影の必要がある作品は撮ることになるが、研究員から聞いている分だけでもかなりの数になりそうだ。良い写真撮影ができるよう、文化財の美を未来に残すために、今から体力も蓄えよう。



出陳一覧

名品展

珠玉の仏たち

なら仏像館

令和6年12月24日(火)～令和7年3月16日(日)

【第1室】

阿彌陀如来立像

個人

観音菩薩立像

文化庁

不動明王立像

正智院

天部形立像

法明寺

大黒天立像

西大寺

聖徳太子立像

成福寺

【第2室】

阿闍如来坐像

西大寺

釈迦如来坐像

東慶寺

文殊菩薩坐像

薬師寺

毘沙門天立像

如法寺

菩薩立像

金龍寺

【第3室】

宝冠阿彌陀如来坐像

安楽寿院

阿彌陀如来坐像

現光寺

如来坐像

法徳寺

阿彌陀如来立像

善集院

阿彌陀三尊像

個人

【第4室】

如意輪観音菩薩坐像

当館

十一面観音菩薩立像

海住山寺



○十一面観音菩薩立像(海住山寺)

如来立像

個人

諸尊仏龕

個人

諸尊仏龕

寂照寺

【第5室】

誕生釈迦仏立像

正眼寺

誕生釈迦仏立像

悟真寺

誕生釈迦仏立像

当館

菩薩半跏像

神野寺

菩薩立像

法起寺

観音菩薩立像

法徳寺

観音菩薩立像

興福院

観音菩薩立像

法隆寺

観音菩薩立像

観心寺

観音菩薩立像

金剛寺

十一面観音菩薩立像

一乗寺

如来坐像

当館

誕生釈迦仏立像

個人

二仏並坐像

当館

菩薩立像

個人

十一面観音菩薩立像

個人

力士立像

個人

如来立像

光明寺

如来立像

当館

三尊尊仏

南法華寺

小型独尊倚像尊仏

当館

(大分県虚空蔵寺跡出土)

小型独尊尊仏

当館

(三重県夏見庵寺出土)

塑像断片(迦楼羅頭部ほか)

当館

(奈良県川原寺裏山遺跡出土)

明日香村教育委員会

塑像断片(天部・僧形像ほか)

福命寺

(滋賀県雪野寺出土)

福命寺

【第6室】

天部形立像

兵庫県

釈迦如来立像

興福寺

如来立像

法明寺

阿彌陀如来坐像

当館

宝冠阿彌陀如来坐像

當麻寺

伽藍神立像

当館

金剛力士立像

金峯山寺

阿彌陀如来坐像

西大寺

光背(二月堂本尊所用)

東大寺

観音菩薩立像(1月13日)

当館

観音菩薩立像(1月13日)

文化庁

観音菩薩立像(1月13日)

勝林寺

十一面観音菩薩立像

地福寺

十一面観音菩薩立像

勝林寺

十一面観音菩薩立像

新薬師寺

十一面観音菩薩立像

薬師寺

十一面観音菩薩立像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

如来三尊像

当館

【第9室】

十一面観音菩薩立像

松尾寺

十一面観音菩薩立像

西光院

准胝観音菩薩立像

文化庁

明星菩薩立像

弘仁寺

地藏菩薩立像

大福寺

地藏菩薩立像

万福寺

不動明王立像

妙法院

不動明王立像

正寿院

不動明王立像

浄瑠璃寺

馬頭観音菩薩立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

不動明王立像

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

獅子

当館

名品展  
珠玉の仏教美術

西新館

2月8日(土)～3月16日(日)

【絵画】

覚禅鈔 十一面観音法 高野山山内寺院

長谷寺縁起絵巻 巻第三

十一面観音像

長谷寺

十一面観音像

金心寺

十一面観音像

太山寺

十一面観音像

当館

十一面観音像

能満院

如意輪観音像

当館

如意輪観音像

西明寺

三十三所観音曼荼羅

観音正寺

水月観音像

聖衆来迎寺

善惡因果経

正智院

維摩詰経集解

談山神社

須真天子経

東大寺

大般若経 巻第四十六

施福寺

悉曇藏 巻第八

梵夾	高貴寺
阿叉羅帖	四天王寺
須惠器短頸壺	当館
灰釉短頸壺および須惠器外容器	当館
(茨城県石岡市(旧八郷町)出土)当館	
渥美 蓮弁文壺	当館
(和歌山県新宮市如法堂経塚出土)	
常滑 二筋壺	当館
壺(常滑)	当館
壺(渥美)	当館
灰釉櫛目文瓶子	当館
(和歌山県新宮市丹鶴山出土)	
瓦経(福岡県福岡市飯盛山経塚出土)	当館
泥塔経(伝鳥取県智積寺跡出土)	当館
滑石製宝塔形経筒	当館
経塚出土品	当館
(伝比叡山根本如法堂出土)	
人面付蓮華文鬼瓦	当館
(伝八島廃寺出土)	
蓮華文方形軒瓦	当館
(南滋賀廃寺出土)	
東大寺大仏殿銘軒丸瓦・軒平瓦	当館
盛装男子埴輪(伝群馬県出土)	当館
伯牙彈琴鏡(伝奈良県五條市出土)	当館
燭台	当館
梵字宝相華唐草文銀象嵌香炉	当館
柄香炉	当館
塔鏡形合子	当館
金銀鍍透彫華籠	神照寺
金銅宝相華文透彫経筒	万徳寺

金銅経筒	施福寺
経帙	当館
経櫃	当館
◎黒漆一切経唐櫃	七寺
金亀舍利塔	長谷寺
金銅火焰宝珠形舍利容器	
附 八角厨子	宝山寺
金銅舍利塔(厨子入り)	岡寺
金銅舍利塔	興福院
※◎＝国宝、◎＝重要文化財	
※展示品は都合により一部変更する場合があります。	

名品展  
中国古代青銅器(坂本コレクション)  
青銅器館



かなえ 鼎 (紀元前11～10世紀)

中国古代の商(殷)から漢代に製作された、青銅器の逸品を展示しています。

## ❖ キャンパスメンバーズとは❖

「奈良国立博物館キャンパスメンバーズ」とは、国立博物館と大学等との連携を図り、博物館が所蔵する文化財を核として文化や歴史をととに学ぶ場を提供する会員制度です。詳しくは下のQRコードからご確認ください。

加入していただいた学校には、次のような特典があります。

### 【特典例】

#### ■名品展の無料観覧

学生証または教職員証の提示により、会員期間中は何度でも名品展(特別陳列含む・特別展除く)を無料でご観覧いただけます。

#### ■特別展の観覧料金割引

- ①学生証の提示により、観覧料金が\*400円になります。
  - ②教職員証の提示により、観覧料金が100円引きになります。
- ただし、上記①・②について、別途定める場合がございます。

#### ■研究員による解説付きの特別鑑賞会の実施(要申込)

※展覧会により実施しない場合があります。

令和7年1月1日現在、「キャンパスメンバーズ」会員の大学等は以下の通りです。

追手門学院大学 文学部・国際学部・国際教養学部	大阪大学・大阪大学歯学部附属歯科技工士学校
大阪大谷大学	学校法人 関西大学
学校法人 関西学院	京都大学
学校法人 京都外国語大学	京都工芸繊維大学
京都女子大学	京都精華大学
京都橘大学	近畿大学 文芸学部・近畿大学大学院 総合文化研究科
神戸大学	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
四天王寺大学 文学部・社会学部・人文社会学部・教育学部	就実大学 人文科学部
総合研究大学院大学	帝塚山大学
天理大学	学校法人 同志社
奈良大学	奈良教育大学
奈良県立大学	奈良工業高等専門学校
奈良女子大学	奈良先端科学技術大学院大学
佛教大学	立命館大学・立命館大学大学院
龍谷大学 龍谷大学短期大学部	

## ◆奈良国立博物館賛助会

令和7年1月1日現在、特別支援会員2団体、特別会員6団体、一般会員(団体)14団体、一般会員(個人)148名のご入会をいただいております。

〔特別支援会員〕 (株)読売新聞大阪本社  
(株)大和農園ホールディングス

〔特別会員〕 (株)奥村組西日本支社、(株)朝日新聞社、  
(株)ライブアートブックス、(株)葉風泰夢、結の会、  
(株)ワールド・ヘリテイジ

〔団体会員〕 日本通運(株)関西西美術品支店、(株)尾田組、  
(株)木下家具製作所、(株)天理時報社、  
(株)きんでん奈良支店、奈良信用金庫、ひかり装飾(株)、  
(株)南都銀行、小山(株)、奈良県有名専門店会、  
(株)ゴードー、  
一般社団法人 茶道裏千家 淡交会 奈良支部

〔個人会員(新規)〕  
浅田 博之 様 令和6年10月ご入会  
澤村 清秀 様 令和6年10月ご入会  
栗屋 美知代 様 令和6年11月ご入会  
小島 健 様 令和6年11月ご入会  
津坂 巖 様 令和6年12月ご入会

## 【表紙解説】

## 二月堂練行衆盤

重要文化財 木製 漆塗  
径四三・一cm 高二・〇cm  
鎌倉時代 永仁六年(一二九八)  
奈良 東大寺

修二会(お水取り)に参籠する練行衆が、食堂での食作法に用いる盆。作法中は食堂机の下に置き、食後に食器をかたづけの際に使用する。

本品は東大寺に伝わるうちの一枚で、表面に透漆で「十六」と記す。裏面には外縁に沿って「二月堂練行衆盤廿六枚内 永仁六年十月日漆蓮仏」という朱漆銘がある。朱塗りの丸盆であることから日の丸盆、また永仁盆とも称される。

※特別陳列「お水取り」にて展示  
羽良 朝風(当館学芸部研究員)

## ❖ サンデートーク ❖

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通(つう)」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加ください。

■ 1月19日(日)

### 「古写真と仏像研究」

山口 隆介(当館学芸部主任研究員)

たった1枚の古写真が、仏像の知られざる歴史の一側面を明らかにすることがあります。仏像研究における古写真の有用性について、近年の調査成果をふまえてお話します。

[受付期間 12月20日(金) 12:00~1月18日(土) 17:00]

■ 2月16日(日)

### 「密教法具の魅力を旅する」

三本 周作(当館学芸部主任研究員)

密教の儀式で仏との交信に欠かせない仏具が、密教法具です。その神秘性ゆえ、密教法具は不可思議な造形にあふれ、法具自体にも様々な意味合いが籠められました。2024年の「空海 KŪKAI」展で見聞した海外の作品も踏まえ、密教法具の奥深い魅力を探る旅にご案内します。

[受付期間 1月31日(金) 12:00~2月15日(土) 17:00]

■ 3月16日(日)

### 「文化財修理とX線CT調査」

加藤 沙弥(当館学芸部研究員)

文化財の多くは、数度の修理を経て今日まで守り伝えられてきました。今回は仏像修理を中心に、X線CT調査から明らかとなった修理の履歴と、CT調査が現在の修理にどのように活用されているのか、近年の調査結果とともにご紹介します。

[受付期間 2月28日(金) 12:00~3月15日(土) 17:00]

■ 4月20日(日)

### 「奈良博の図書館へ行こう! 仏教美術資料研究センターの働き」

大内 静華(当館学芸部専門職(司書)) ※定員90名

奈良博の敷地内に建つ平等院鳳凰堂を連想させる明治35年に竣工した木造建築。現在は仏教美術資料研究センターとして、奈良博を支える図書館の働きを担っています。今回はセンターの取り組みを紹介し、閉架中の書庫を含む建物内部をご覧ください。

[受付期間 3月24日(月) 10:00~4月7日(月) 17:00]

[抽選結果通知 4月11日(金)まで]

■ 5月18日(日)

### 「国宝 薬師如来坐像の再現プロジェクト」

翁 みほり(当館学芸部研究員)

当館コレクションの代表である、国宝 薬師如来坐像。その造り方や魅力を知ってもらうために、国宝 薬師如来坐像を忠実に再現するプロジェクトを実施しました。再現を通してわかったことや、今後の活用についてお話しします。

[受付期間 4月21日(月) 10:00~5月5日(月・祝) 17:00]

[抽選結果通知 5月9日(金)まで]

■ 6月15日(日)

### 「地獄を旅する」

北澤 菜月(当館学芸部情報サービス室長)

開催中の「超 国宝展」展示作品を中心に、日本で描かれてきた地獄のイメージを、テキストも読みながらじっくりご覧いただけます。できれば極楽もご紹介いたします。

[受付期間 5月19日(月) 10:00~6月2日(月) 17:00]

[抽選結果通知 6月6日(金)まで]

## 《抽選制へ変更のお知らせ》

3月のサンデートークまでは事前申込先着順、4月のサンデートーク以降は事前申込抽選制となります。抽選結果を期日までにお送りいたします。当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

【時 間】 13:30~15:00 (13:00開場)

【会 場】 当館講堂

【定 員】 各回180名

【申込方法】 当館ウェブサイト「講座・催し物」→「サンデートーク」申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

【受付期間】 各講座欄をご覧ください。

※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。

※聴講には事前申込が必要です(当日申込でのご参加はできません)。

※入場の際には、3月までは受付完了メール画面、4月以降は当選メール画面をご提示ください。

※応募は各回お1人様1回でお願いいたします。

## ❖ 特別陳列「お水取り」公開講座 ❖

■ 2月15日(土)

### 「声明稽古の進めかたとは」

講師: 狭川 普文師(東大寺長老・東大寺総合文化センター総長)

受付期間: 1月20日(月) 10:00~2月3日(月) 17:00

抽選結果: 申込者全員へ2月7日(金)までにメールにて抽選結果をお送りします。当選メールが参加証となりますので、メールの画面、または印刷したものを当日必ずご提示ください。

【時 間】 13:30~15:00 (13:00開場)

【会 場】 当館講堂

【定 員】 180名(事前申込抽選制)

【申込方法】 当館ウェブサイト「講座・催し物」→「公開講座」申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。

※応募はお1人様1回でお願いいたします。

※参加証で展覧会場に入場することはできません。

※当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

## ウェブサイト「正倉院展用語解説」を公開しました。



### 正倉院展用語解説

The Exhibition of Shosoin Treasures Glossary

毎秋開催される正倉院展の図録には、宝物にもちいられた材質や技法、関連する事項を詳しく説明する用語解説を掲載してきました。この度、昭和57年(第34回)から昨年までの図録に掲載された用語解説1,000件を取りまとめ、インターネットでの公開をはじめました。正倉院宝物やいにしへの歴史と文化への理解を深めていただく際に、どうぞご活用ください。

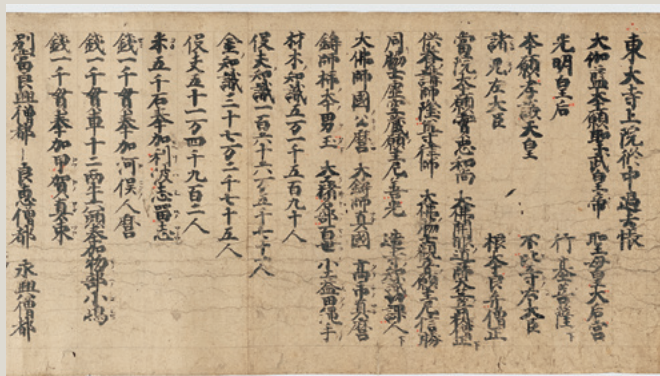
URL: <https://shosointen-glossary.narahaku.go.jp/>



特別陳列「お水取り」にて展示

二月堂修中過去帳

紙本墨書  
縦28.0cm 長3436.0cm  
室町～江戸時代(16～17世紀)  
奈良 東大寺



東大寺にゆかりある人々、また二月堂修二会(お水取り)に関わりがある人々の名を、時代を追って書き連ねたもの。「大伽藍本願聖武皇帝」すなわち東大寺を創建した聖武天皇から始まり、東大寺の僧侶、仏師、寺を支援した各時代の権力者といった人々の名が見える。二月堂修二会を創始した実忠は、巻頭から五行目の上段に「当院本願実忠和尚」と記されている。現在では修二会中、3月5日と12日の初夜に過去帳が読み上げられる。本品はその最古写本である。

歴史的な有名人が名前を連ねる一方で、袈裟・念珠・香水杓・田畑等を寄進した一般の人々の名も収められている。修二会の歴史の長さとともに、多くの人々から篤い信仰を寄せられていた事が知られる。また東大寺草創期にその造営に知識(寄進者・労働者)として携わった人々が「材木知識五万一千人五百」「役夫知識一百六十六万五千七十一人」などと列記されている点は、まさに東大寺の歴史を感じさせる。

斎木 涼子(当館学芸部列品室長)

展示品の  
みどころ

名品展「珠玉の仏教美術」にて展示

灰釉短頸壺および須恵器外容器

茨城県石岡市(旧新治郡八郷町)出土  
陶製  
壺：口径11.8cm 高27.2cm  
平安時代(9世紀) 当館



筑波山の東方、古代の常陸国府の裏山的な場所から見つかった骨壺である。壺は尾張(現在の愛知県)の猿投窯で焼かれた灰釉陶器。もとは薬物が珍味かは分からないが、中に貴重なものを収めて東海道を東に、さらに船に乘せられてはるばる常陸国の都にまで運ばれた。中身もさることながら、白い素地に緑の釉薬がかかる美しい壺は、地元名士の垂涎的であったに違いない。今、本品を手にとってみると、驚くほど軽い。キメ細かく、腰が強く、さらに耐火度の高い粘土を使い、限界まで薄く削り込み、窯内で歪まない程度に硬く焼き上げる。とても地元の土と窯では実現できない高度な技術である。

一方、この壺を守っていた外容器は、地元の新治窯で焼かれた須恵器の甕と鉢であった。壺より一回り大きく頑丈な甕の上半部を打ち欠き、ぴったりと壺を収納し、上から帽子のように鉢を被せていた。

中核に遠来の貴重な壺、それを包む地元の甕と鉢。この組み合わせには、金・銀から銅・石の容器へと入れ子にする舍利容器のイメージが投影されている。大切な人の遺骨をお釈迦さまの舍利にたとえた知識人の所業であろう。

吉澤 悟(当館学芸部長)

■開館日時(1月～3月)

■開館時間／午前9時30分～午後5時

- ※2月2日(日)(節分の日)、3月12日(水)(龍松明の日)、3月22日(土)、3月29日(土)は午後7時まで。
- ※3月1日(土)～11日(火)・13日(木)・14日(金)(東大寺二月堂お水取り期間)は午後6時まで。
- ※入館は閉館の30分前まで。

■休館日／毎週月曜日、1月14日(火)、2月25日(火)

- ※1月13日(月・祝)、2月24日(月・祝)、3月3日(月)・10日(月)は開館。
- ※その他、臨時に休館日を変更することがあります。

■無料観覧日(名品展)／2月2日(日)(節分の日)

■観覧料金 名品展・特別陳列・特集展示

	一般	大学生
個人(当日)	700円	350円

- ※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライロIDをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
- ※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生および教職員の方は無料です。
- ※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は子ども1名につき同伴者2名まで一般100円引き、大学生50円引きとします(親子割引)。



[交通案内]近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ。

※当館には駐車スペースがございませんので近隣の県営駐車場等(有料)をご利用ください。



奈良国立博物館  
NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。  
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は110円切手を、角形2号の場合は140円切手を貼付してください。